

2024年2月9日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地

アドバンス・レジデンス投資法人

代表者名 執行役員

樋口 達

(コード番号：3269)

資産運用会社名

伊藤忠リート・マネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長

東海林 淳一

問合せ先 執行役員 住宅事業本部長

工藤 勲

(TEL：0120-938-469)

CDP 気候変動プログラム初参加に関するお知らせ

アドバンス・レジデンス投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）は、CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）気候変動プログラムに初めて参加し、2023年の評価において、「B」スコアを取得しましたのでお知らせいたします。

記

1. CDP 評価について

本投資法人は2023年評価において初めてCDPに参加し、気候変動質問書に回答し「B」スコアを取得いたしました。また、住宅系J-REIT^(注)によるCDPの参加は本投資法人が初となります。

2. CDP について

CDPは世界有数の環境情報開示プラットフォームを運営する非営利団体で、2000年の設立以来、資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導してきました。現在では137兆米ドル以上の資産を保有する740を超える署名金融機関と協働しています。2023年には、世界の時価総額の3分の2に相当する23,000社以上、1,100以上の自治体を含む、世界中の25,000を超える組織がCDPの質問書を通じて環境情報を開示しました。

CDPのスコアは、リーダーシップレベル（A、A-）、マネジメントレベル（B、B-）、認識レベル（C、C-）、情報開示レベル（D、D-）の8段階で評価されます。



本評価に関する詳しい内容は、CDPの活動のページをご覧ください。<https://www.cdp.net/ja>

(注) 「住宅系 J-REIT」とは、東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場している投資法人のうち、住宅を主たる投資とし、ポートフォリオにおける住宅の投資比率が50%以上の銘柄をいいます。

3. 本投資法人及び資産運用会社の今後の取組み

本投資法人及び資産運用会社である伊藤忠リート・マネジメント株式会社は、中・長期的な資産価値の維持・向上のためには、環境配慮、地域社会への貢献及びテナント満足度の向上等を中心としたサステナビリティに関する取組みが重要であると認識しています。今後につきましても、それら取組みを推進することにより、投資主価値の更なる向上を図る方針です。

以上

アドバンス・レジデンス投資法人とは

伊藤忠グループの資産運用会社「伊藤忠リート・マネジメント株式会社」が運用する、Jリート最大の住宅特化型リートです。東京都心を中心に全国に280物件超の賃貸住宅を保有し、資産規模は4,800億円（取得価格合計）を超えています。住宅という安定したアセット、Jリート最大の積立金（剰余金）を活用し、長期安定的な分配が期待できるディフェンシブ性の強いJリートです。

※「アドバンス」は、伊藤忠リート・マネジメント株式会社が運用する不動産投資法人の共通ブランドネームです。

本投資法人のホームページアドレス：<https://www.adr-reit.com>

資産運用会社のホームページアドレス：<https://www.itc-rm.co.jp/>